

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 九州デザイナー学院
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	イラストレーション学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	ファッション学科	夜・通信	384 時数	160 時数	
	ゲームクリエイター学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	マンガ学科	夜・通信	512 時数	160 時数	
	トイデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	総合デザイン学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』学校情報 (PDF)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 九州デザイナー学院
設置者名	学校法人 Adachi 学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表『 <https://www.kdg.ac.jp> 』学校情報（PDF）

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学院教授(現職)	2018年4月1日就任 2021年8月4日任期満了	経営戦略の立案・助言
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2022年4月1日任期満了	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2021年11月15日任期満了	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 九州デザイナー学院
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』学校情報 (PDF)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果は授業担当者の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は5段階で評価を行う</li> </ul> <p>A=優秀 B=良い C=基準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP評価制度により客観的に評価を行う。</li> </ul> <p>ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』学校情報 (PDF)</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <p>・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』学校情報 (PDF)</p>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 九州デザイナー学院
設置者名	学校法人 Adachi 学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 学校情報 (PDF)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 学校情報 (PDF)
財産目録	ホームページにて公表 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 学校情報 (PDF)
事業報告書	ホームページにて公表 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 学校情報 (PDF)
監事による監査報告 (書)	ホームページにて公表 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 学校情報 (PDF)

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		54人	4人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	人 (%)	18人 (28.3%)	5人 (21.7%)

(主な就職、業界等) デザイン事務所/印刷会社など
(就職指導内容) 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8.0%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題/進路変更/経済的な問題など		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	イラストレーション 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		68人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	人 (%)	23人 (95.8%)	1人 (4.2%)
(主な就職、業界等) デザイン事務所/イベント会社/印刷会社など			



<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	2 人	7.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的な問題/進路変更/経済的な問題など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	インテリアデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		37人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) ) 放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	人 (%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
(主な就職、業界等) デザイン事務所/家具制作販売企業/住宅メーカーなど			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ファッション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		17人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は5段階で評価を行う</li> </ul> <p>A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。</li> </ul> <p>G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0</p> <p>算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</li> </ul>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。</li> </ul> <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>	
学修支援等	
<p>（概要））放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	人 (%)	11人 (100%)	人 (%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>アパレル販売/縫製会社/アパレルメーカーなど</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ゲームクリエイター 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		70人	2人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	1人 (4.0%)	23人 (92.0%)	1人 (4.0%)
（主な就職、業界等） ゲーム制作会社/Webデザイン会社/プログラマーなど			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	マンガ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間／単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		146人	3人	4人	4人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	1人 (1.7%)	51人 (87.9%)	6人 (10.3%)
（主な就職、業界等） 漫画家デビュー/デザイン事務所/ゲーム制作会社/印刷会社など			



<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	8 人	12.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的な問題/進路変更/経済的な問題など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	トイデザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		22人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	人 (%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
(主な就職、業界等) フィギュア制作会社/造形関係企業など			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 単位時間/単位	128 時間	1792 時間	時間	時間	時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		26人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	1人 (%)	24人 (92.3%)	人 (%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所/アパレル企業/印刷会社など			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究を行い情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的な問題/進路変更/経済的な問題など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(その他内訳) ①施設設備費 ②教科書教材研修費
グラフィックデザイン学科	100,000 円	780,000 円	264,320 円	① 239,000 円 ② 25,320 円
イラストレーション学科	100,000 円	780,000 円	328,110 円	① 239,000 円 ② 89,110 円
インテリアデザイン学科	100,000 円	780,000 円	285,860 円	① 239,000 円 ② 46,860 円
ファッション学科	100,000 円	780,000 円	333,600 円	① 239,000 円 ② 94,600 円
ゲームクリエイター学科	100,000 円	780,000 円	288,740 円	① 239,000 円 ② 49,740 円
マンガ学科	100,000 円	780,000 円	388,120 円	① 239,000 円 ② 149,120 円
トイデザイン学科	100,000 円	780,000 円	394,080 円	① 239,000 円 ② 155,080 円
総合デザイン学科	100,000 円	780,000 円	239,000 円	① 239,000 円 ② 選択授業による
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表「 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 」学校情報 (PDF)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校の理念・目的に照らして、自らの教育活動を自己評価し、それを基に卒業生・企業・業界団体・自治体など学校が選任した方々で構成された学校関係者評価委員会を年1回(8月)開催し、業界が求める人材像や必要とされる知識、技術など教育や就職指導に関する意見を交わす。評価を受けた後、評価が低い案件について学校長、学務責任者で確認し、学務会議で協議し、10月以降学務責任者の指導の元、改善に向け取り組んでいく。</p> <p>過去議題 教育に関して：業界が求める学び／社会性／学生の安全(火災、耐震、避難などの対策)</p> <p>就職に関して：インターンシップに関して／卒業生の活躍状況把握</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡県洋菓子協会	平成29年11月1日～ 令和元年10月31日(2年)	業界団体
税理士法人アーク・パートナーズ	令和元年6月1日～ 令和3年5月31日(2年)	会計士
株式会社 荻田商業建築 デザイン事務所	令和元年6月1日～ 令和3年5月31日(2年)	企業等・卒業生
オリエンタルホテル福岡 博多ステーション	平成29年11月1日～ 令和元年10月31日(2年)	企業等・卒業生
福岡市博多区博多駅前3丁目2区 自治会	平成29年11月1日～ 令和元年10月31日(2年)	自治会長
株式会社 映像ボックス	平成30年9月1日～ 令和2年8月31日(2年)	企業等・卒業生
博多女子高等学校	平成30年9月1日～ 令和2年8月31日(2年)	高等学校
株式会社 T00・福岡支店	平成30年9月1日～ 令和2年8月31日(2年)	企業等
有限会社フラワーパーク	平成30年9月1日～ 令和2年8月31日(2年)	企業等
アミ・シュプール	平成30年6月1日～ 令和2年5月31日(2年)	企業等・卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 本校ホームページにて公表 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 『 <a href="https://www.kdg.ac.jp">https://www.kdg.ac.jp</a> 』
---